

令和 3 年度(2021 年度)

青森県量子科学センター(QSC)動物実験等の実施に関する状況について

I. 動物実験に関する組織

青森県量子科学センター

機関長	所属・職名	施設長		
事務担当者	所属・職名	研究推進 G		
同 連絡先	TEL	0175-72-1270	e-mail	info@aomori-qsc.jp

動物実験委員会

役職	区分	所属・職名	専門分野
委員長	1	大学 教授	病態薬理学、博士(医学)
委員	1	大学 准教授	食品栄養学、博士(獣医学)
	1	研究所 業務執行役	動物飼育・施設管理
	2	一般企業	放射線管理・動物飼育管理
	2	青森県量子科学センター 研究推進 G	動物飼育管理
	3	医師	医学
	3	青森県量子科学センター 研究推進 G	放射線管理

(区分) 1 動物実験等に関して優れた識見を有する者

2 実験動物に関して優れた識見を有する者

3 その他の学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 年度毎の年間使用数・特定日の飼養数

動物種: マウス	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年間使用数	84 匹	224 匹	410 匹
※1 特定日飼養数	0 匹	30 匹	0 匹

※1 特定日:各年度の 3 月末日

2. 年度毎の承認された動物実験計画数

動物実験 計画数	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	9 件	6 件	1 件

3. 年度毎の動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練 受講者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	14名	3名	4名

◇青森県量子科学センターの動物実験に関する教育訓練内容

- (0) 青森県量子科学センターの定める規程等に関する事項
- (1) 関連法令等に関する事項
- (2) 動物実験等の方法に関する基本的事項
- (3) 実験動物の飼養又は保管に関する基本的事項
- (4) 安全確保及び安全管理に関する事項
- (5) 人と動物の共通感染症に関する事項
- (6) その他適切な動物実験等の実施に関する事項

4. 実験動物飼養保管施設・実験室の現況

※2 飼養保管施設の数: 1 飼育室 2 箇所		飼育室の総延べ床面積: ☒ 300㎡未満 ☐ 300㎡以上		
飼育室の名称	管理者の職	実験動物管理者の職 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養匹数 (概数)
動物飼育室	研究推進 G	研究推進 G (実験動物2級技術者・15年)	マウス	96
			ラット	60
中性子実験準備室 (2)	研究推進 G	研究推進 G (実験動物2級技術者・15年)	マウス	112
			ラット	24

※2 飼養保管施設とは管理者および実験動物管理者による一体化した管理体制の下で実験動物の飼養及び保管等を行う施設を言っており、個々の動物飼育室を指してはおりません。

◇動物実験室・・・8室

- ・機器測定室
- ・細胞培養準備室
- ・細胞培養分析室
- ・小動物 PET/MRI 室
- ・中性子実験準備室(3)
- ・中性子実験室
- ・動物飼育室(飼育室と実験室を兼ねる)
- ・中性子実験準備室(2)(飼育室と実験室を兼ねる)

5. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所(URL): <https://www.aomori-qsc.jp/research/animal.php>